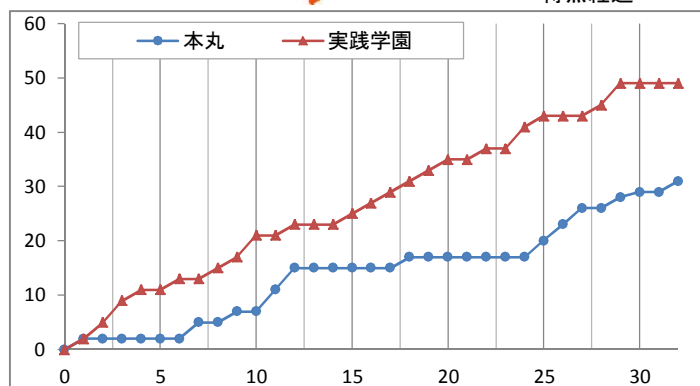




得点経過



大会名	平成27年度全国中学校体育大会 第45回全国中学校バスケットボール大会																
会場	一関市総合体育館																
日時	2015年8月24日(月)	16:25															
コート	Bコート第6試合																
カテゴリー	男 決勝トーナメント2回戦																
主審	田中 充																
副審	高平 吉康																
TEAM A	TEAM B																
本丸 (新潟県)	31 ●	49 ○ 実践学園 (東京都)															
	<table border="1"> <tr><td>5</td><td>1st</td><td>15</td></tr> <tr><td>10</td><td>2nd</td><td>12</td></tr> <tr><td>2</td><td>3rd</td><td>14</td></tr> <tr><td>14</td><td>4th</td><td>8</td></tr> <tr><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table>	5	1st	15	10	2nd	12	2	3rd	14	14	4th	8	-			
5	1st	15															
10	2nd	12															
2	3rd	14															
14	4th	8															
-																	

BOXスコア

TEAM A		本丸						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	石黒 渚	×	6	2	0	0	0	
5	山岸 秀斗	×	8	2	1	0	3	
6	竹内 秀	×	2	0	1	0	1	
7	相馬 迅	×	6	0	3	0	1	
8	川村 亮汰	×	9	0	4	1	0	
9	平山 大翔	DNP	0	0	0	0	0	
10	伊藤 瞭佑	DNP	0	0	0	0	0	
11	小林 亮介	DNP	0	0	0	0	0	
12	長谷川 新吉朗	/	0	0	0	0	0	
13	菱倉 崇人	DNP	0	0	0	0	0	
14	居城 心太	DNP	0	0	0	0	0	
15	大川原 祐輝	DNP	0	0	0	0	0	
16	渡辺 悠樹	DNP	0	0	0	0	0	
17	佐藤 博亮	DNP	0	0	0	0	0	
18	佐藤 理雄	DNP	0	0	0	0	0	
コーチ	井上 英樹							
合計			31	4	9	1	5	

TEAM B		実践学園						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	小玉 大智	×	25	0	12	1	1	
5	小松 篤	DNP	0	0	0	0	0	
6	藤村 夏生	DNP	0	0	0	0	0	
7	若月 遼	×	8	0	4	0	3	
8	豊島 隆平	DNP	0	0	0	0	0	
9	斉藤 颯斗	/	2	0	1	0	0	
10	横山 悠人	×	0	0	0	0	5	
11	樋口 将馬	DNP	0	0	0	0	0	
12	伊藤 康雄	×	2	0	1	0	2	
13	渡部 一輝	DNP	0	0	0	0	0	
14	佐藤 律希	DNP	0	0	0	0	0	
15	江原 信太朗	×	8	0	3	2	0	
16	吉崎 裕志	DNP	0	0	0	0	0	
17	木村 圭吾	/	4	0	1	2	0	
18	小宮山 駿帆	DNP	0	0	0	0	0	
コーチ	森 圭司							
合計			49	0	22	5	11	

x...スターター /...出場 DNP...未出場 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦 評

全中優勝2回の本丸(新潟)と前年度準優勝の実践学園の強豪校同士の一戦となる。1Q、本丸はハーフコートマンツーマン Def、実践学園は3-2マッチアップゾーンDefでスタート。実践学園#4、#15が長身を生かして連続得点をする。本丸は#5がはじめに2本のシュートを決めてからは、なかなか攻め手がなく得点が入らない。タイムアウトを取るが流れは変わらない。実践学園#4、#15がインサイドを征し、得点差を広げ5-15で終了する。2Q、実践学園#4が力強いインサイドプレーで次々と得点を伸ばす。本丸も負けじとインサイドの空中戦を挑み、リバウンドを互角に取り合い、ブロックショットもとび出す。実践学園がセンターコート付近からプレッシャーをかけるが本丸はうまくかわして得点を上げる。しかし、実践学園のペースは変わらず、15-27で前半を終える。

3Qに入っても実践学園は#4のインサイドでの力強いプレーで得点を重ねて行く。本丸は流れを変えようとタイムアウトを取る。本丸#4の冷静なチームコントロールが目立つがマッチアップゾーン Def を攻め切れず、得点が入らない。4Q、本丸が#4と#5の3連続3P で26-43と追い上げるが、タイムアウトで実践学園が流れを切り、#4がインサイドの1対1で突き離す。本丸は逆転するためにオールコートマンツーマン Def で仕掛けるが、実践学園は動じない。本丸#8がブロックショットで意地を見せるが、31-49で実践学園が準決勝進出を決める。試合を通して、実践学園がペイントエリアを支配したゲームだった。